

## 経済建設 常任委員会

### 国立公園の魅力向上

Qどのような事業か。

A地域協議会などで利用拠点計画を策定し、廃屋撤去やインバウンド機能向上・文化的魅力の活用をはかるもの。

観光課

### 新規宅地造成の計画

Q新規造成する計画はあるか。

Aナスパルタウンに代わる新しい宅地を名和・中山地区で検討中である。

建設課

### 地籍調査の進ちよく状況

Q調査の目的と終了年度は。

A土地の区分・境界を確定すること。  
全町完了まで40～45年間の予定、財政問題と職員数不足で短縮は困難。

地籍調査課

## 大山そばの販売が好調



参道市場の陳列棚

6月10日・11日の2日間、所管する各課から事業説明を受けた。  
12日は大山ジビエ工房、土砂崩れ現場、大山参道市場、こもれびと、大山観光局の視察を行った。  
「参道市場」では、初年度目標8800万円を上回る売上げがあったこと、「こもれびと」では、インバウンド対応宿泊事業へ取り組みることなどの説明を受けた。

### 畜産振興策

Q個人で和牛畜産業をめざす人への支援は。

A一から個人的に始めるにはハードルが高い。和牛繁殖基盤整備事業で後継者育成を行っている。



高品質の鳥取和牛

農林水産課

### 遊休農地対策

Q農作条件の悪い田畑の対応は。

A中間管理機構での斡旋は3年までで戻される。農業委員などが関わるが、利益の出にくい土地は次の担い手確保が難しい。

農業委員会